

安八スマートインターチェンジ

整備効果

●既存企業の発展、企業誘致の促進

安八スマートインターチェンジ付近では、工業系用途地域として、複数の工場が立地している状況にあり、設置により高速道路へのアクセス性が向上することで物流機能の効率化が図られました。

また、企業誘致の促進、雇用機会の拡大といった地域の活性化が期待されます。

●揖斐川・長良川渡河部の交通分散

揖斐川・長良川に囲まれた本町周辺地域では、朝夕の通勤時を中心に橋への交通集中により、慢性的な交通渋滞が発生していましたが、高速道路へのアクセス性を向上させることで、高速道路への交通転換が図られ、交通が分散されました。

今後は、アクセス道路の長良川堤への延伸整備等を進め、更なる利便性の向上を図ります。

●災害や緊急時における避難経路の確保

地域住民の生命を守るため、昭和51年の「9.12安八水害」の教訓を活かし、緊急避難経路や避難場所を確保することは重要です。

安八スマートインターチェンジは災害時、集中する交通の緩和・復旧支援・洪水や浸水の恐れがある場合の一時的な避難場所としても重要な役割を担います。

今後も災害時の拠点として整備・検討を進めていきます。

日頃から高速道路をご利用くださいますようお願いいたします。

名神高速道路 安八スマートインターチェンジ (SIC) は開通から早くも1年を迎えようとしており、これまで当初の予測交通量をはるかに上回る多くの方々にご利用して頂いております。安八SICの整備に当たり貴重な土地をご提供くださいました地権者の方や多くの関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

安八SICの開通によって、QOL(生活の質)の向上など様々な整備効果が発揮されつつあります。さらなる利便性向上に向け、引き続き関係者と調整を図ってまいります。

わが町、わが故郷のインターチェンジとして末永く愛され、ご利用頂ければ幸甚に存じます。

さて、名神高速道路は1964年の開通以来54年を経過し、経年劣化による老朽化などに起因する著しい変状が顕在化しています。必要な対策を講じることにより、高速道路の安全性向上と機能強化の不断の取組みを進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



中日本高速道路株式会社 羽島保全・サービスセンター
所長 秋山 彰

